【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第１区分
【発行日】令和4年12月28日(2022.12.28)

【国際公開番号】WO2021/221018
【出願番号】特願2022-518058(P2022-518058)
【国際特許分類】
H01M 50/559(2021.01)
H01M 50/109(2021.01)
H01M 50/56(2021.01)
H01M 50/119(2021.01)
H01M 50/545(2021.01)
H01M 50/153(2021.01)
H01M 50/181(2021.01)
H01M 10/052(2010.01)
H01M 10/058(2010.01)
H01M 50/588(2021.01)
H01M 50/593(2021.01)
H01M 50/184(2021.01)
H01M 50/188(2021.01)
【FI】
H01M 50/559
H01M 50/109
H01M 50/56
H01M 50/119
H01M 50/545
H01M 50/153
H01M 50/181
H01M 10/052
H01M 10/058
H01M 50/588
H01M 50/593
H01M 50/184 E
H01M 50/188

【手続補正書】
【提出日】令和4年10月14日(2022.10.14)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
電極組立体、および、該電極組立体を収納する外装体を有して成る二次電池であって、
前記外装体には、絶縁材を介して接合された金属板が具備されており、
前記外装体は開口部を有し、該開口部の周縁エッジおよび前記金属板の外縁エッジの一方が前記絶縁材から離れるように曲げられている、二次電池。
【請求項２】
前記開口部の前記周縁エッジおよび前記金属板の前記外縁エッジの他方も前記絶縁材か

ら離れるように曲げられている、請求項１に記載の二次電池。
【請求項３】
前記曲げられた部分の周囲において前記絶縁材が相対的に肉厚になっている、請求項１または２に記載の二次電池。
【請求項４】
前記相対的に肉厚になっている前記絶縁材が前記曲げられた部分と接している、請求項３に記載の二次電池。
【請求項５】
前記開口部の前記周縁エッジおよび前記金属板の前記外縁エッジの他方が前記絶縁材に向けて曲げられている、請求項１に記載の二次電池。
【請求項６】
前記開口部の前記周縁エッジの前記曲げられた部分が該開口部の全周に設けられており、および／または前記金属板の前記外縁エッジの前記曲げられた部分が該金属板の全周に設けられている、請求項１～５のいずれかに記載の二次電池。
【請求項７】
前記開口部の前記周縁エッジの前記曲げられた部分および／または前記金属板の前記外縁エッジの前記曲げられた部分が鋭利状である、請求項１～６のいずれかに記載の二次電池。
【請求項８】
前記金属板が電極端子である、請求項１～７のいずれかに記載の二次電池。
【請求項９】
前記電極端子は正極および負極の一方であり、前記外装体は該正極および該負極の他方である、請求項１～８のいずれかに記載の二次電池。
【請求項１０】
前記外装体が金属外装体であり、該金属外装体がカップ状部材および蓋状部材の２パーツ構成を有して成る、請求項１～９のいずれかに記載の二次電池。
【請求項１１】
ボタン形またはコイン形の形状を有する、請求項１～１０のいずれかに記載の二次電池。
【請求項１２】
前記電極組立体の電極として、リチウムイオンを吸蔵放出可能な正極および負極が含まれる、請求項１～１１のいずれかに記載の二次電池。